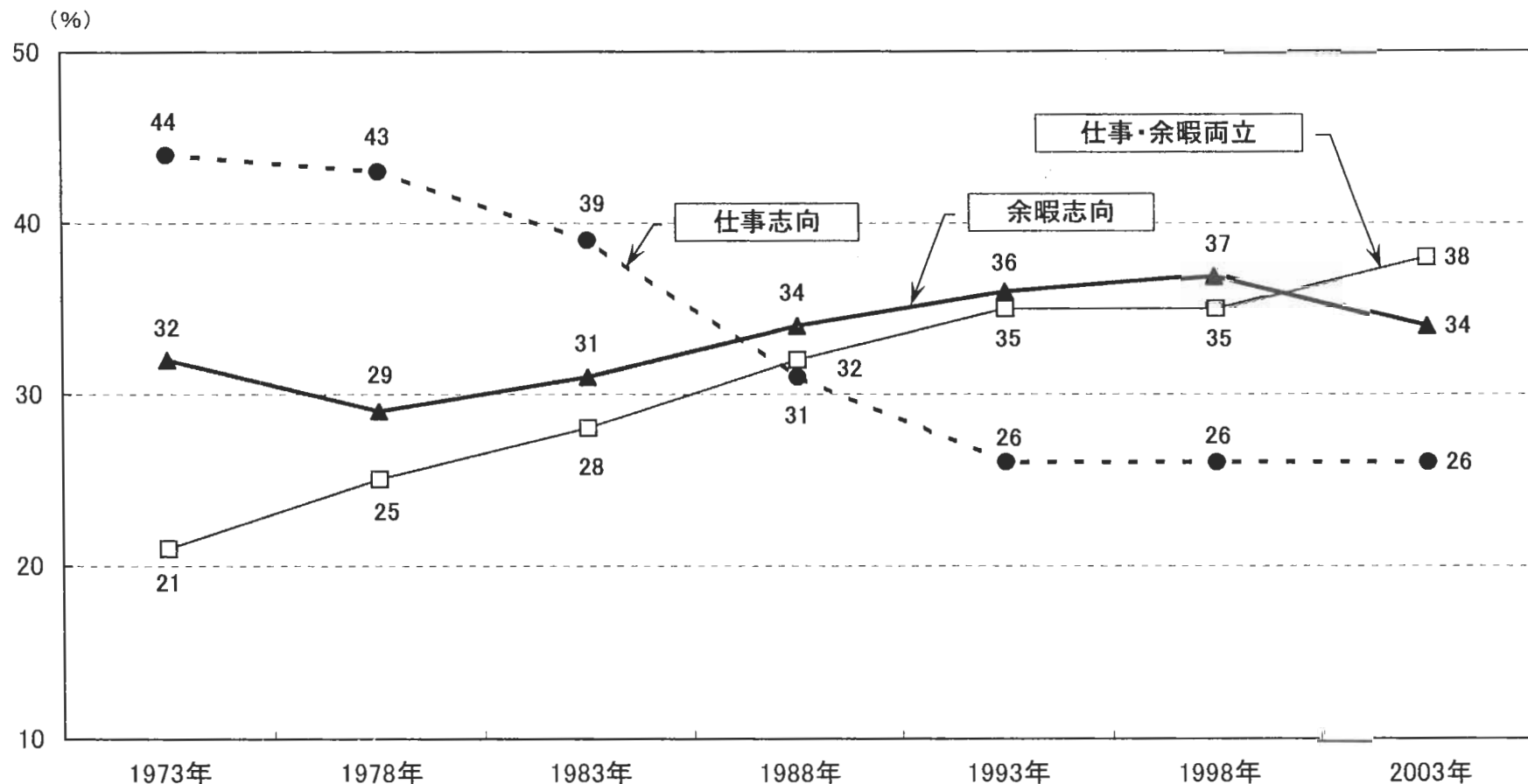


「仕事」か「余暇」を巡る意識の変化(全体)



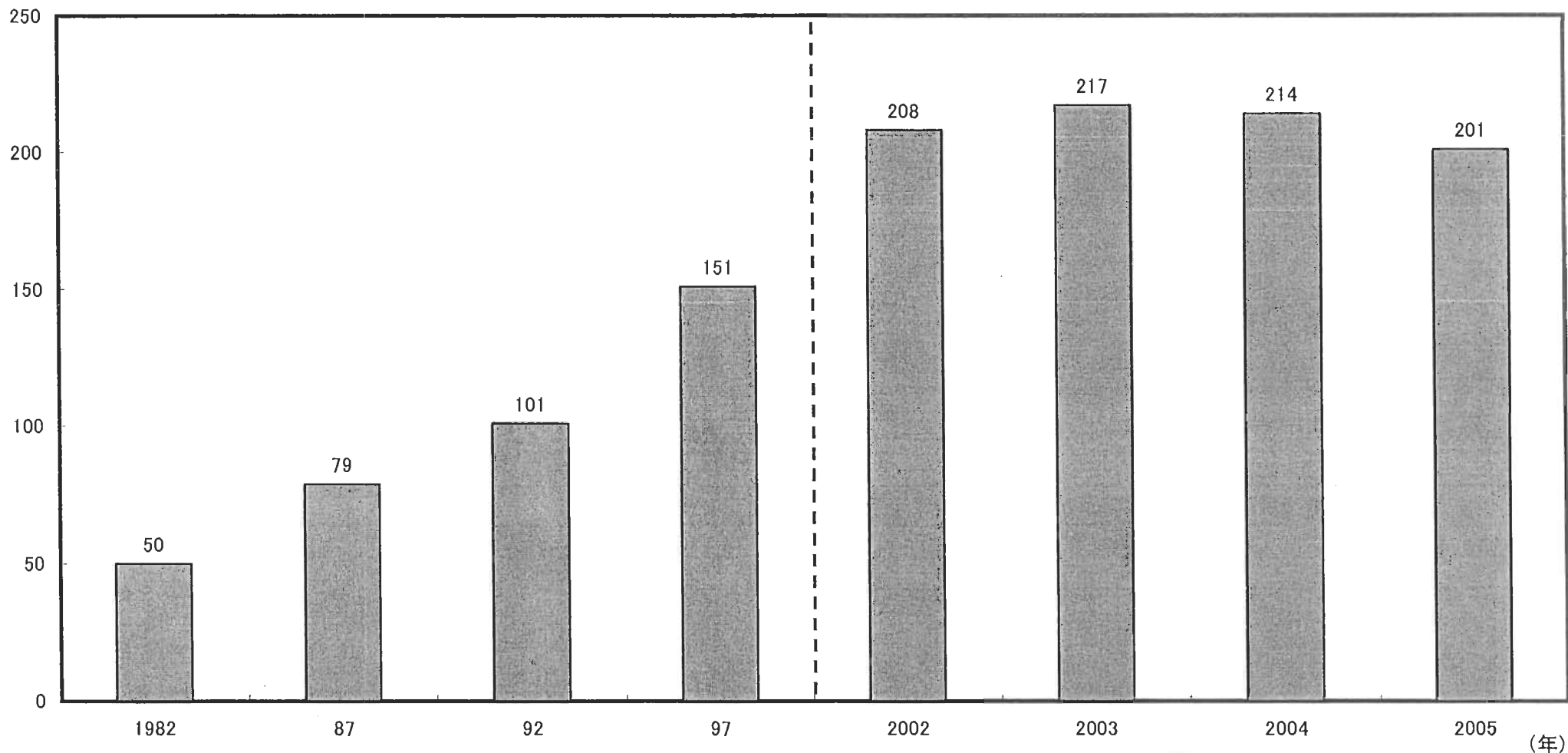
(備考)「仕事と余暇のあり方について最も望ましいと思うのはどれですか。」という問に対する回答者の割合。「余暇志向」は「仕事よりも余暇の中に生きがいを求める」「仕事はさっさと片付けて、できるだけ余暇を楽しむ」と回答した人の割合。「仕事・余暇両立」は「仕事にも余暇にも、同じくらい力をいれる」と回答した人の割合。「仕事志向」は「余暇時には楽しむが、仕事の方に力を注ぐ」「仕事に生きがいを求めて全力を傾ける」と回答した人の割合。

2003年: 全国16歳以上の国民5,400人に対して個人面接法により調査(調査有効数3,319人(61.5%))。

(出所) NHK放送文化研究所「第7回 日本人の意識・2003」調査報告書

フリーターの人数の推移

(万人)



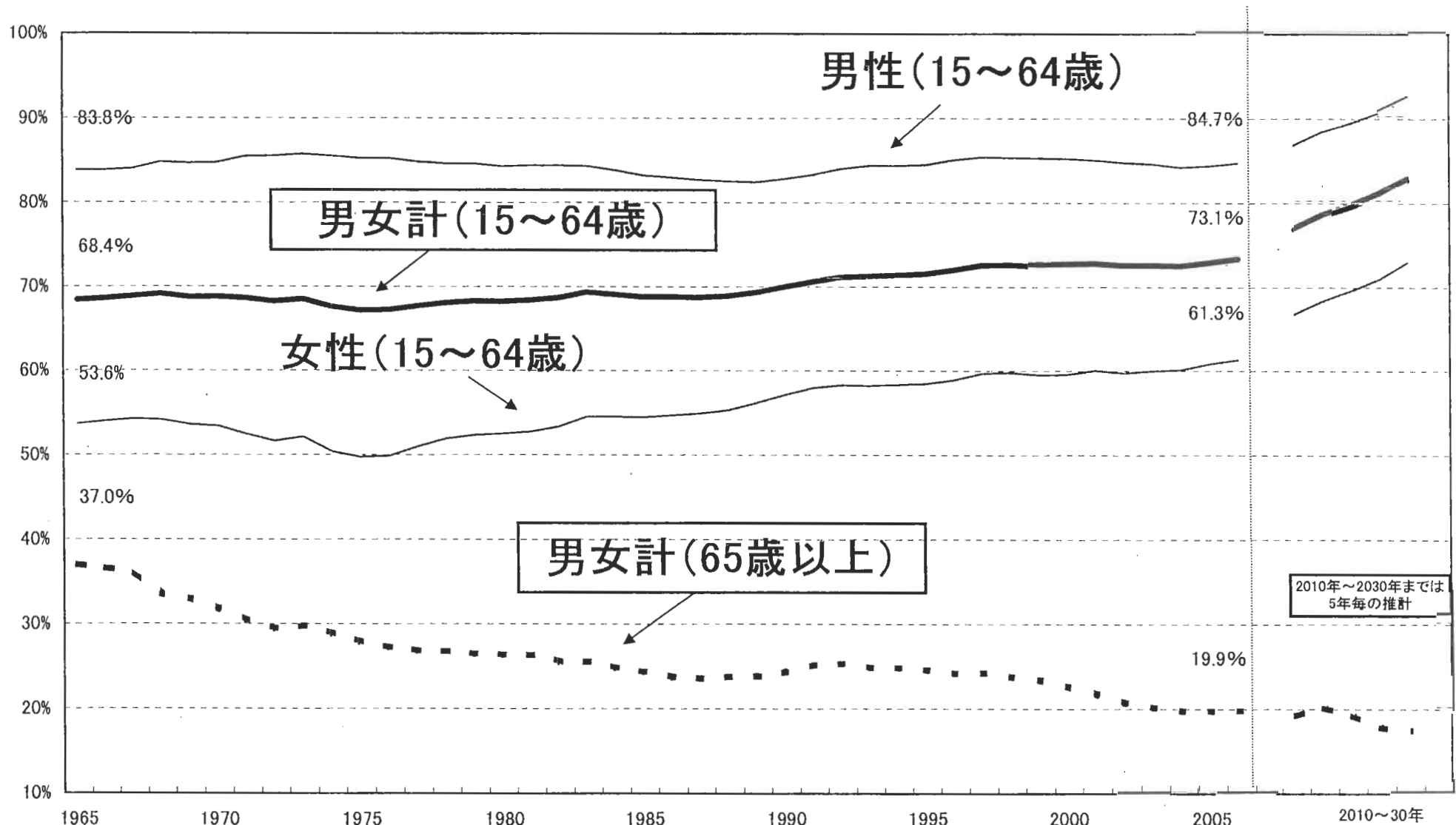
(注) 1) 1982年、87年、92年、97年については、フリーターを、年齢15～34歳と限定し、①現在就業している者については勤め先における呼称が「パート」又は「アルバイト」である雇用者で、男性については継続就業年数が1～5年未満の者、女性については未婚で仕事を主にしている者とし、②現在無業のものについては家事も通学もしておらず「パート・アルバイト」の仕事を希望する者と定義し、集計している。

2) 2002年から2005年については、フリーターを15～34歳で、男性は卒業者、女性は卒業者で未婚の者とし、①雇用者のうち勤め先における呼称が「パート」又は「アルバイト」である者、②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者、③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者としている。

3) 1982年から97年までの数値と2002年から2005年までの数値とでは、フリーターの定義等がことなることから接続しない点に留意する必要がある。

(出所) 「平成18年版 労働経済の分析」より転記

労働力率の推移



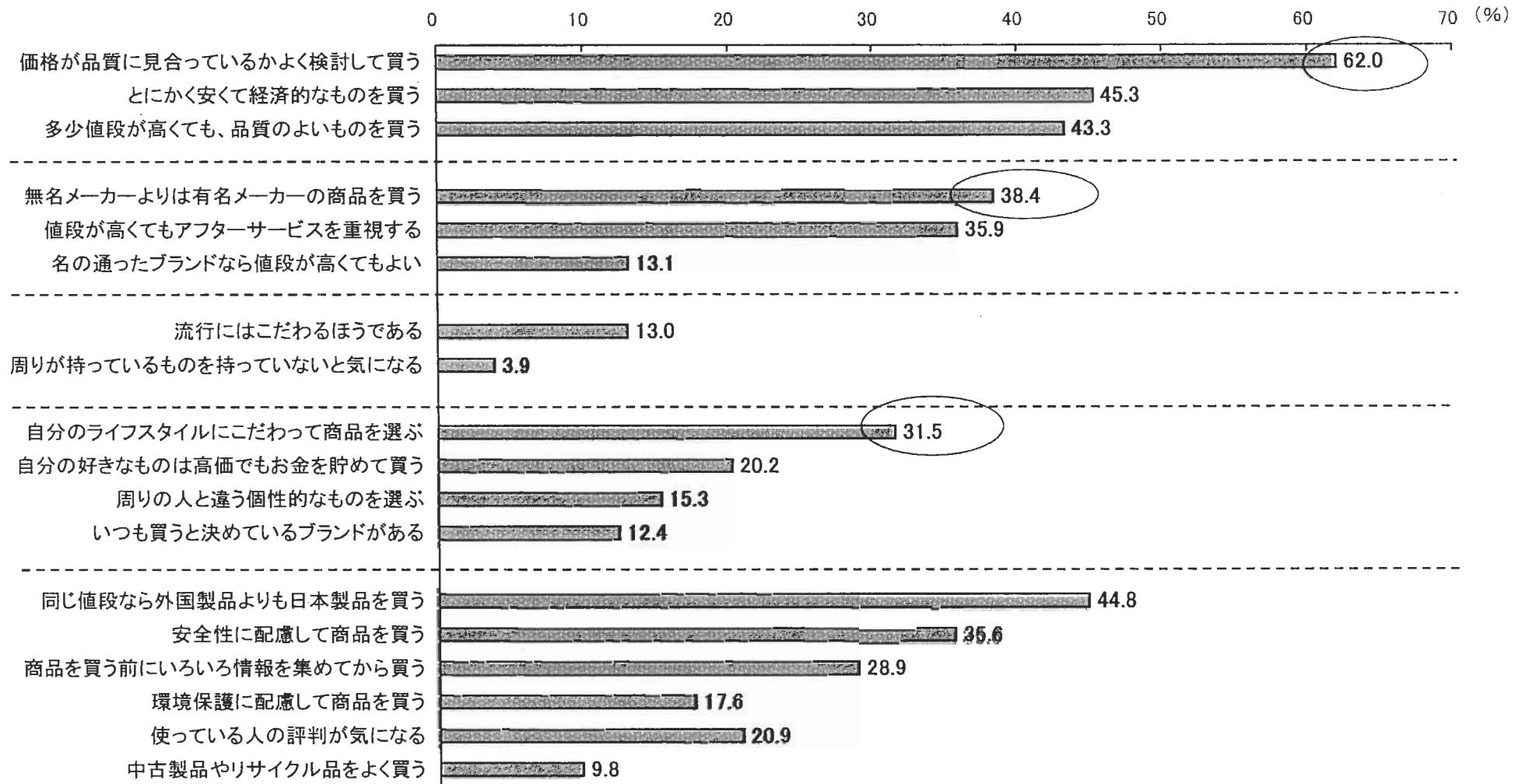
(備考) 2006年以前の労働力率＝15～64歳労働力人口/15～64歳人口(%)により推計。データは、総務省「労働力調査 長期時系列データ」による。なお、2010年以降2030年までの5年毎の推計は、労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計」(平成17年8月)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」による。

また、2006年以前と2010年以降の推計とでは、推計方法、データが異なることから接続しない点に留意する必要がある。

(出所) 総務省「労働力調査 長期時系列データ」(1965～1972年については沖縄県が含まれていない。)、労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計」(平成17年8月)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」

消費スタイル

消費行動においては、「値ごろ感(リーズナブル)」、「有名ブランドメーカー(他者を気にする意識)」、「自分のライフスタイル(こだわり)」等の要因が大きく影響

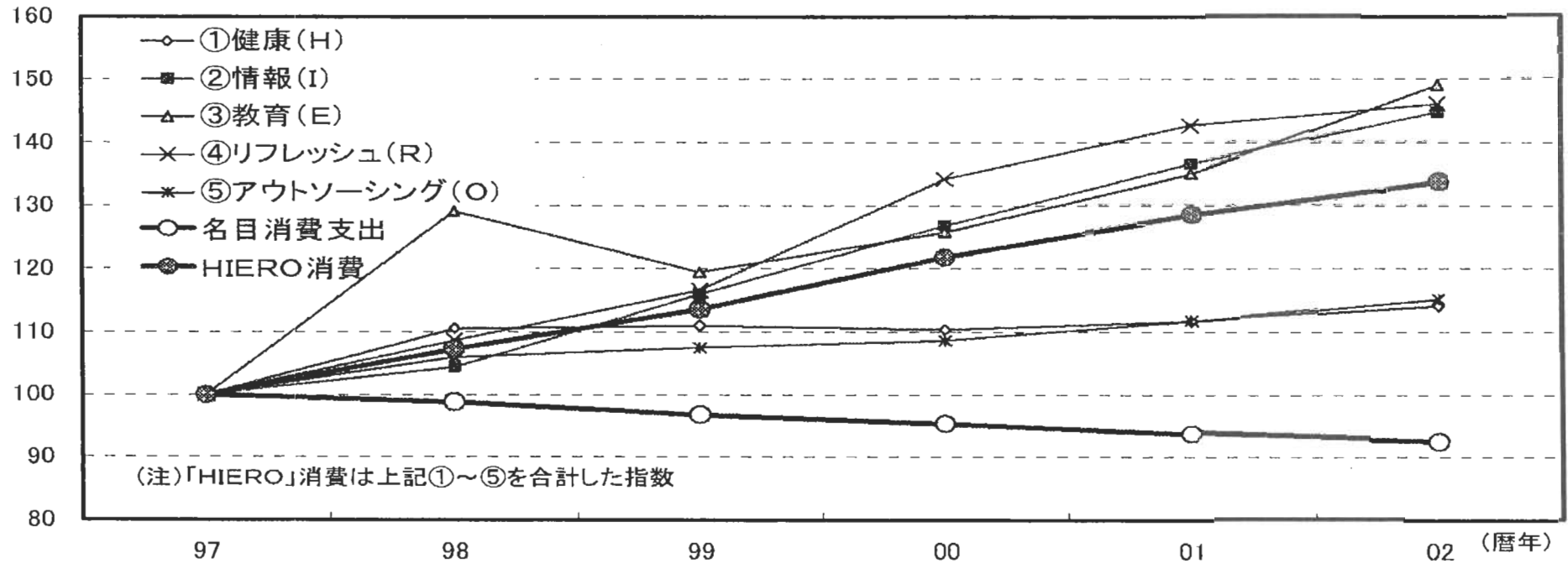


(備考) 全国15～69歳の男女に対する調査。(サンプル数10,071人 調査時期2006年7～8月)

(出所) 野村総合研究所「生活者1万人アンケート調査」を基に作成

家計消費支出における近年の特徴

(1997年の名目消費＝100)

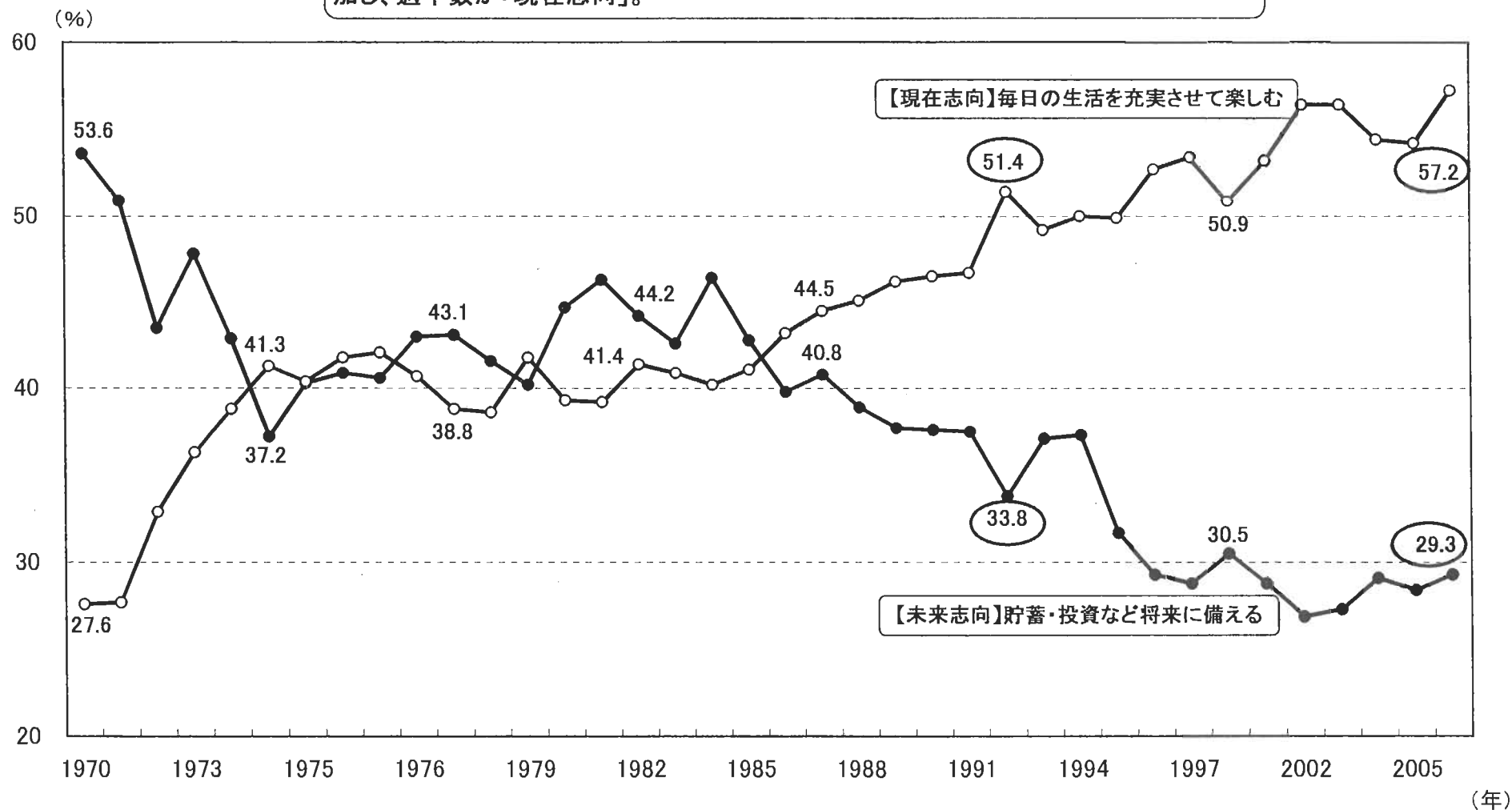


項 目	消 費 者 の 欲 求 (項 目 の 定 義)	消 費 の 具 体 例
Health	- 手軽に日常の中で健康を高めたい - 体にいいものを摂取したい - 体調を快適に保ちたい - 生活習慣病などを予防したい	緑茶、ウーロン茶などの「茶飲料」、栄養剤やサプリメントなどの「健康保持用摂取品」、ヨーグルト、フィットネスクラブの利用料等
Information	- コミュニケーションを深めたい - より多くの情報をより早く手に入れたい - 情報を受け取るだけでなく自らも発信したい (情報の「双方向性」への需要)	パソコン、電話通信料 (インターネット接続料)、携帯電話をはじめとする「通信機器」等
Education	- 子供に立派な教育を受けさせたい - 企業内でのプレゼンスを高めたい - ビジネスで役に立つ優れた技術、能力を身につけたい	英会話教室などの「語学月謝」、大学の公開講座・講演会などの受講料等
Refresh	- ストレスから開放されたい - 日常生活の中で手軽な「癒し」が欲しい - 趣味で生活を充実させたい	発泡酒、缶チューハイなどの「その他の酒」、「ペット関連用品」、観葉植物などの「園芸関連 (ガーデニング) 用品」、カメラ、ゲーム機、カラオケセットなどの「趣味関連用品」等
Outsourcing	- 家事や育児から解放されたい - 自由な時間を仕事や趣味に活かしたい	弁当、惣菜、レトルト食品などの「調理食品」、「保育費用」等

(出 所) 株式会社住友生命総合研究所「経済ウォッチング 2003年8月15日」より引用

「未来志向」か「現在志向」かについての意識の変化(全体)

1970年代初めには「未来志向」が多かったが、1980年代半ば以降、「現在志向」が増加し、過半数が「現在志向」。

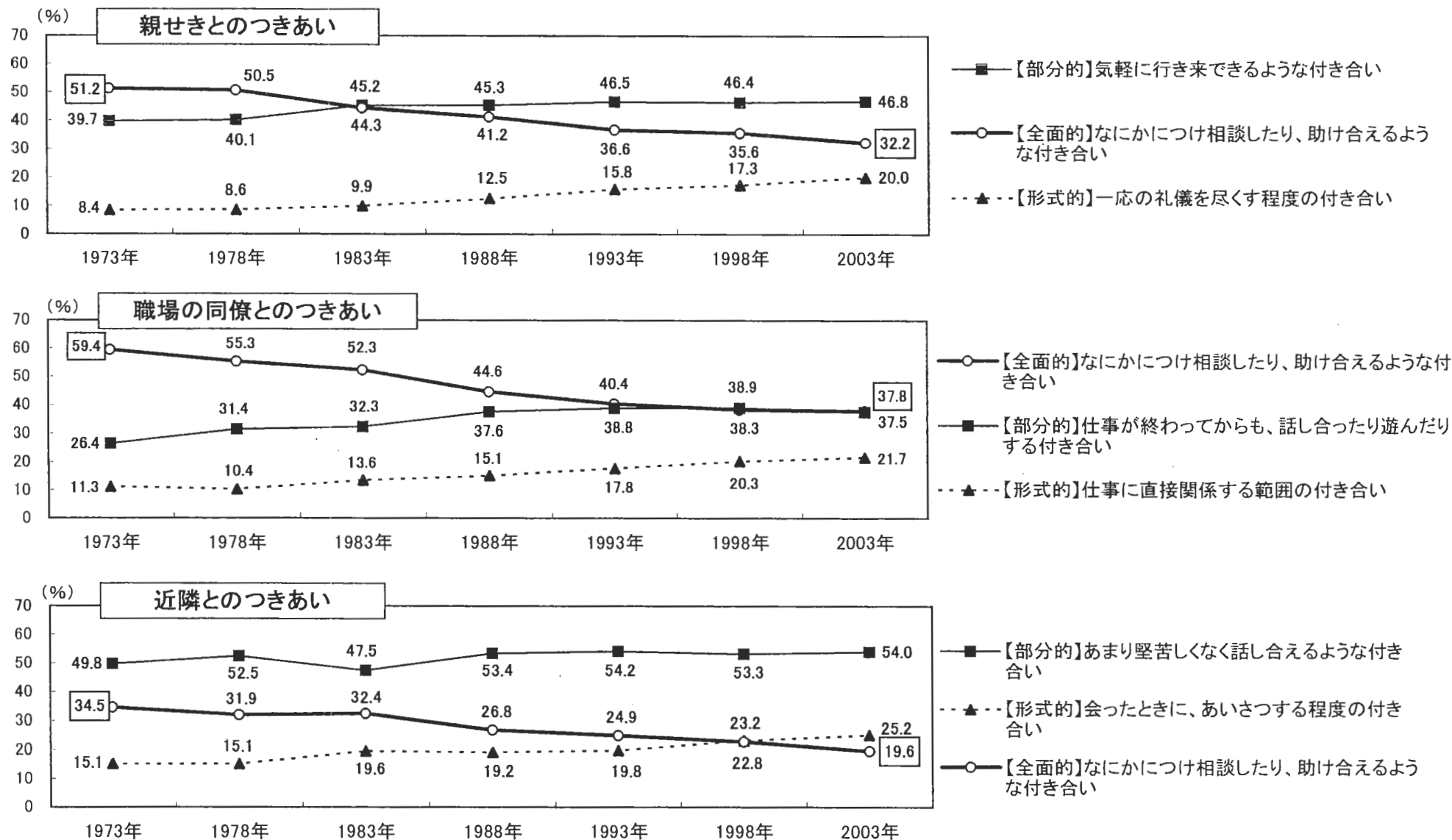


(備考) 「あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか。それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。」という問に対する回答者の割合。

2005年：全国20歳以上の者10,000人に対して個別面接聴取により調査(有効回収数6,924人(69.2%))。

(出所) 内閣府「国民生活に関する世論調査」

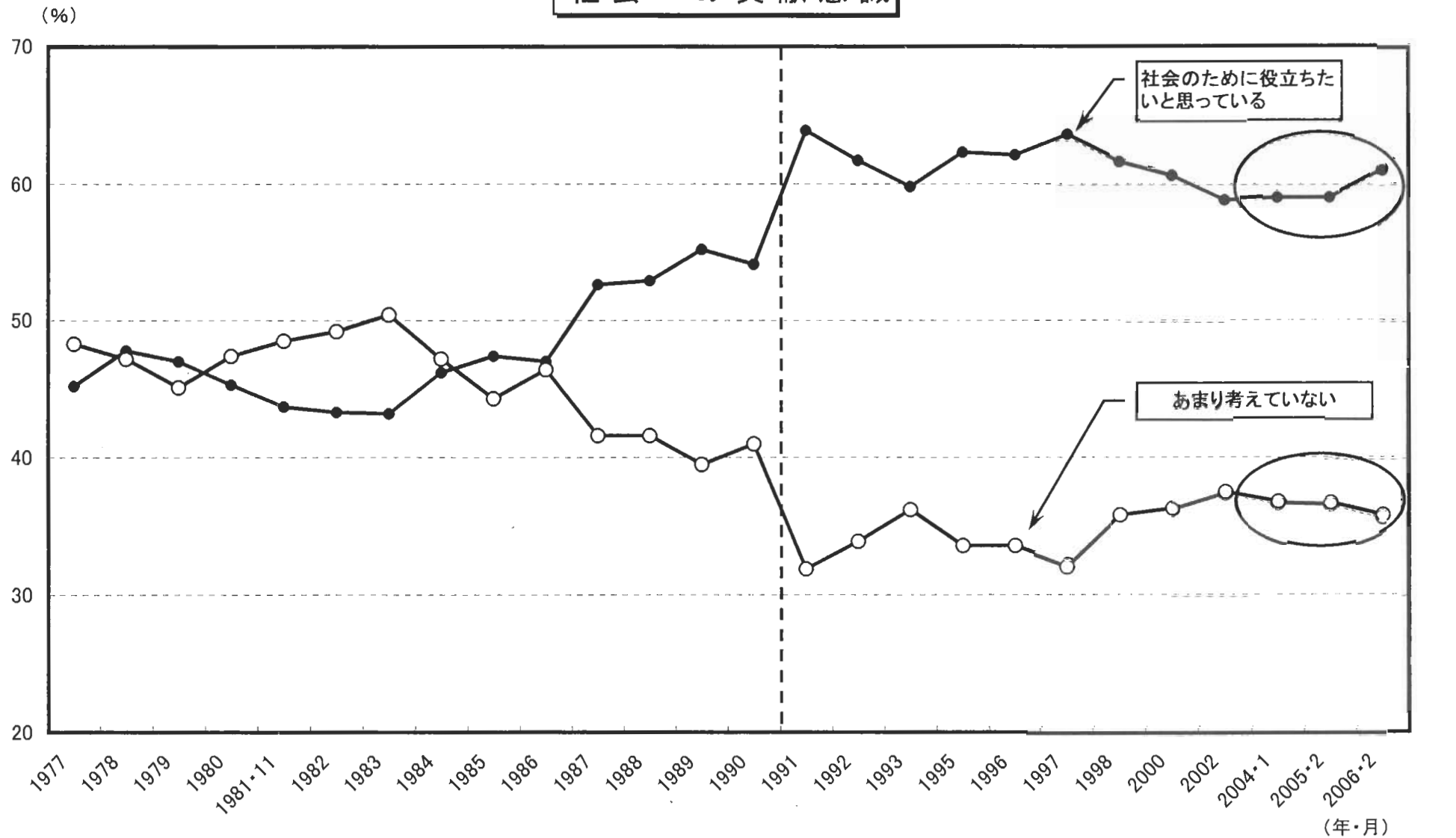
人間関係に関する意識の変化



(備考) 全国16歳以上の国民5,400人に対して個人面接法により調査(調査有効数3,319人(61.5%))。調査時期2003年6月。

(出所) NHK放送文化研究所「第7回 日本人の意識・2003」調査報告書

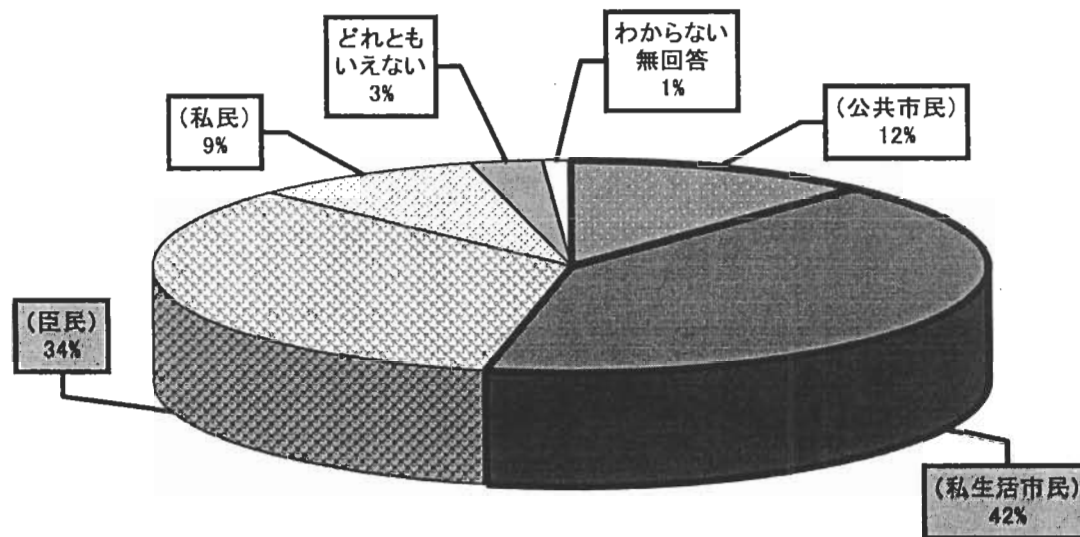
社会への貢献意識



注: 月表記のない年については12月

(備考)「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っているか」という問に対する回答者の割合。
 調査対象(2006年2月調査): 全国20歳以上の者10,000人(有効回収数(率)5,071人(50.7%))
 (出所)内閣府「社会意識に関する世論調査」

世の中とのかかわり方について(市民意識)

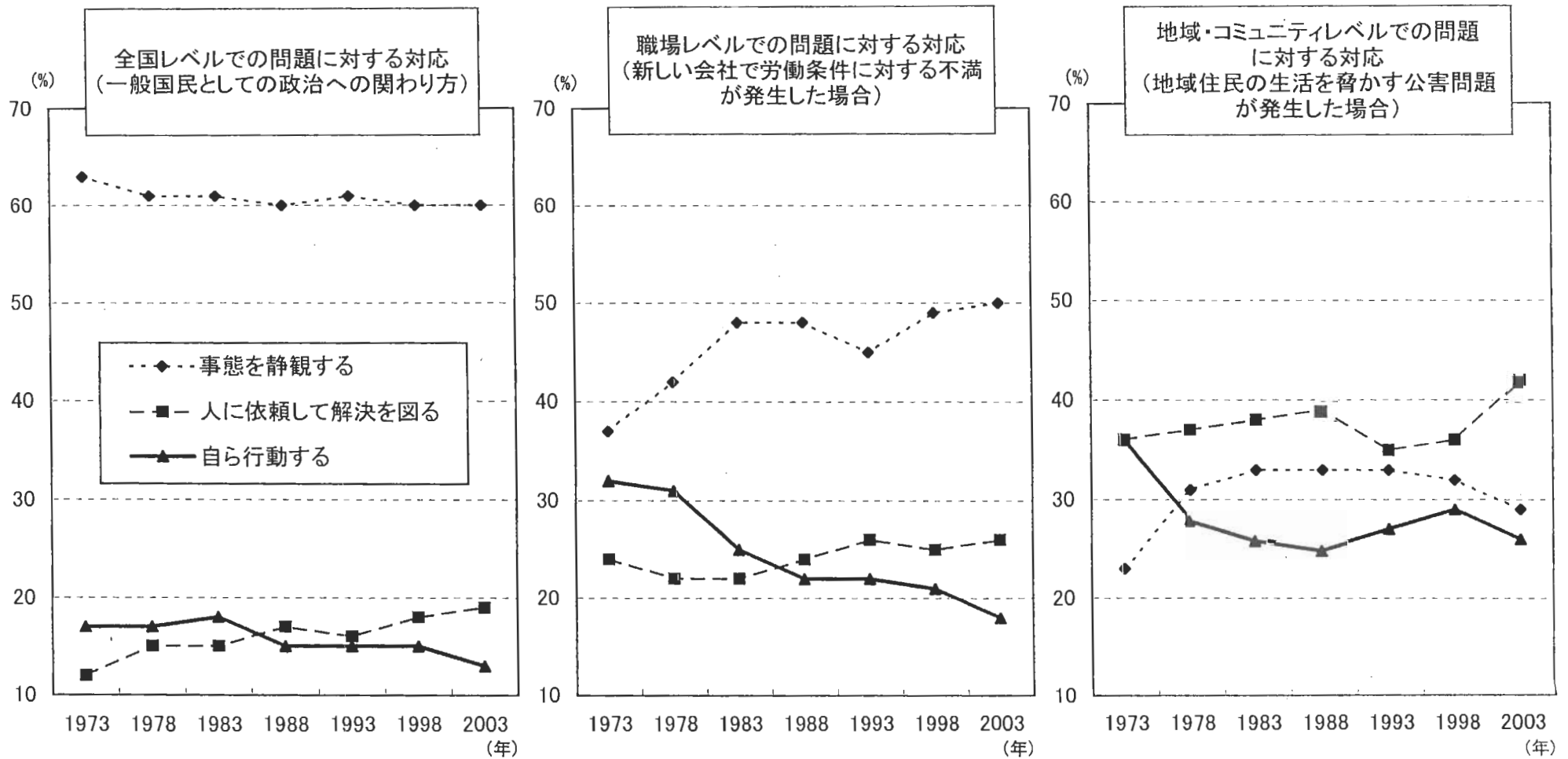


日本人の社会との関わり方について、「自分の生活と関わりがある身近な範囲内での関わり」や「ルール化された範囲内での関わり」を志向する者が多い。

- ☒ (公共市民) 社会のために必要なことを考え、みんなと力を合わせ、世の中をよくするように心がけている
- ☒ (私生活市民) 自分の生活との関わりで自分なりに考え、身近なところから世の中をよくするように心がけている
- ☐ (臣民) 決められたことには従い、世間に迷惑をかけないように心がけている
- ☐ (私民) 自分や家族の生活を充実させることを第一に考え、世間のことには関わらないよう心がけている
- ☐ どれともいえない
- ☐ わからない、無回答

(備考) 調査対象: 全国の20歳以上の男女3,600人(調査有効数2,192人(60.9%)) 調査時期: 2002年11月
(出所) NHK放送文化研究所「放送研究と調査」

社会的な行動への関与についての意識の変化



(備考) 2003年: 全国16歳以上の国民5,400人に対して個人面接法により調査(調査有効数3,319人(61.5%))。

(出所) NHK放送文化研究所「第7回 日本人の意識・2003」調査報告書